

瞬トキメキ

# 多くの人を 笑顔にしたい



いまにし ゆうと  
**今西 勇人さん(20歳)**  
(高座名 **浪漫亭 朱羽来**)

つつじが丘小学校→猪名川中学校→川西緑台高等学校  
→関西大学



落語大学の仲間たち



応援してくれる家族と

## 会場の空気を変える

### 話術に感動

私が落語に興味を持ったきっかけは、小学生の頃に家族と観た浅草演芸ホールでの林家正蔵師匠の寄席でした。一人が高座に上がり、話術で会場の空気を一変させ、観客が自然と笑いに包まれていく様子に感動し、人前に立ち言葉で場を動かす力に惹かれました。

### 人を笑顔にできる喜び

落語を始めたのは、そんな感動を忘れてかっていた大学1年生の6月でした。笑いに関わる活動に挑戦したいと思いい、関西大学の落語研究会「落語大学」に入部しました。

落語は日本の伝統的な話芸で、話し手が高座で座布団に座り、声色や身振りを使い分けながら様々な登場人物を演じ、物語を進めていきます。

間の取り方や表情、仕草で観客と一体となり、笑いを生み出すこの芸は、ただの娯楽にとどまらず、日常の中の喜怒哀楽や人間の心理を巧みに表現しているところが深い魅力の一つです。

練習はネタとなる音声を繰り返し聴き、10分の演目で約2週間、30分の演目には1か月ほど稽古し、仕上げます。練習したネタは地域の老人ホームや公民館で寄席を開催し、披露しています。お客さんの顔がどんどんと笑顔に変わり、最後には大きな拍手をいただける瞬間が嬉しく、大きな喜びです。

## 学長のプレッシャーを

### 乗り越えて

2年生の11月に、第62代学長に就任いたしました。すると、歴代の偉大な先輩たち、特に第2代学長であった六代目桂文枝師匠の存在が大きく、寄席の舞台に立つ際にこれまでになくプレッシャーを感じるようになり、今まで通りの寄席をすることができなくなりました。そんな自分を変えるために「目の前の人たちが笑顔になってくれたらそれで十分」と考えるようにして、寄席に臨むようになりました。すると気持ちが楽になり、話し方や間の取り方にも工夫を重ねた「自分らしい落語」ができるようになりました。

### ごどもたちに学ぶ楽しさを

今後は、機会があれば猪名川町で寄席を開催し、落語という伝統芸能の魅力を多くの人に伝え、笑顔の輪を広げたいと考えています。

また、将来は高校の教員を目指しています。楽しくてわかりやすい授業を行い、学ぶ楽しさを伝えられるような教師になれるよう、努力したいと思っています。

寄席の様子などを落語大学 SNS で配信しています！



YouTube



Instagram

【広報いながわ vol.1039 (令和8年3月1日発行)】 編集・発行 / 猪名川町 (12,300部発行、1部あたり単価 25.29円)

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑 11-1

☎ 766-0001 (代表) ☎ 766-8902 ※広報誌面内、市外局番がないものは ☎ 「072」

◆配布に関する問い合わせ (公社) 猪名川町シルバー人材センター

☎ 0120-812-580 (フリーダイヤル) ※9~17時 (土日祝を除く)



△「瞬トキメキ」掲載希望者募集中